

● 舞洲ふ頭についたバナナ専用船



● フィリピンから大阪港まで



● ふ頭

港の中で船を横付けして人の乗り降りや貨物のあげ降ろしをする所。

● 船から降ろされるバナナの箱



● 岸壁での作業のようす



1 大阪港探検

〔1〕舞洲ふ頭の見学

ともこさんたちは、港湾局の人にバナナ専用船が着く日を教えてもらい、見学をお願いをして舞洲ふ頭へ調べに行くことにしました。

計画ノート

- ① 場所 舞洲ふ頭
- ② 準備物 カメラ、計画メモ、筆記用具
- ③ 気をつけること
 - 仕事のじゃまにならないようにする。
 - 写真をとるときは係の人にたずねる。
- ④ 調べたいこと
 - 舞洲ふ頭は、どんなところか。
 - バナナを船からどうやって運ぶのか。
 - 働く人のようすについて。
 - ムロはどんなところか。

① 船からバナナを降ろして倉庫へ

大きな専用船は、舞洲の東側の長さ240mほどもある岸壁に横付けになっていました。クレーンがゆっくりと動いて、ダンボール箱を降ろしてました。フォークリフトがたくさんの箱を積んで、いそがしく動いていました。

岸壁で働いているのは20人ほどで、船の大きさやダンボール箱の多さに比べて人数が少ないのにはおどろきました。